

工学部都市環境システム学科 2003 年度〔前期〕時間割

曜	1 限 (08:50-10:20)	2 限 (10:30-12:00)	3 限 (12:50-14:20)	4 限 (14:30-16:00)	5 限 (16:10-17:40)	6 限 (17:50-19:20)	7 限 (19:30-21:00)
月			3 マルティメディア論〔塩田 工 17-211 都A23〕		2 環境文化論〔宮崎清 工 2-202 都A15〕		
火				2 ネットワーク基礎 I〔須貝 工 17-214〕 都A13	1 造形演習〔宮崎清 工 2-201 都A4〕		
水	2 材料力学〔大山宏 工 9-106 都A10〕	2 材料力学演習〔大山宏 工 9-106 都A11〕 3 都市環境Ⅰ〔前野一 工 17-214 都A22〕	1 図学演習〔(田中修)他 工 10-412 製図 都A6〕 2 都市環境共生Ⅰ〔青柳象 工 9-206 都A14〕 3 都市防災科学〔中井 工 9-107 都A22〕 4 都市環境マネジメントⅠ〔(塩島壯) 工 5-204 都A36〕	3 通信環境システムⅠ〔伊藤 工 17-212 都A23〕	2 都市情報計画Ⅰ〔柘植 工 15-110 都A14〕		
木		3 環境経済学〔倉阪秀 工 17-113 都A20〕	2 都市環境基礎演習Ⅱ〔(峯田建)他 未定(工学部) 都A15〕	2 プログラミング言語〔池田宏 工 17-213、メディア基盤センター実習 2 都A12〕 4 地球環境システム論〔(内山茂) 工 5-204 都A36〕	2 プログラミング演習〔池田宏 メディア基盤センター実習 2 都A12〕 3 都市環境システム演習Ⅱ〔(阿部彰) 他 工 17-213 都A24〕	3 都市建築デザイン〔宇野 工 17-211〕 都A24	
金		1 図学演習〔釜池他 工 2-ア(2-601)〕 都A5	3 都市居住計画〔小林秀 工 9-106 都A21〕	1 都市環境システムセミナー〔都全官 工 17-212、工 17-215 都A3〕 2 回路理論Ⅰ〔天沼克 工 17-113 都A13〕			
土							
集中	1 都市環境システム学外演習〔(小黒利) 未定(工学部) 都A6 / 3 都市環境システム特別セミナーⅠ <sup>(注1)</sup> 〔都全官 都A25 / 3 都市環境システム実習〔都全官 未定(工学部) 都A26 / 3 プロジェクト研究 A〔都全官 都A27 / 3 応用数学Ⅰ <sup>(注2)</sup> 〔(今井仁) 未定(工学部) 都A26 / 4 都市環境システム特別セミナーⅡ <sup>(注3)</sup> 〔都全官 都A37 / 4 卒業研究〔都全官 都A37〕						

(注1) 日時：8月4日(月)～(予定)、場所：自然科学研究科・大会議室 / (注2) 開講日：7月30日(水)～8月2日(土) / (注3) 平成15年度開講せず。ただし、都市環境システム特別セミナーⅠの単位を修得済の学生で、2003年度の都市環境システム特別セミナーⅠを履修する場合、都市環境システム特別セミナーⅡを履修するものとみなすので、その場合は都市環境システム特別セミナーⅡで履修登録すること。

授業科目名の前の1～4は工学部の開講科目であることを、1～4は普遍教育科目等であることを、や中の数字は対象年次を表している。普遍教育の科目については普遍教育発行の資料・サーバを参照のこと。末尾の都A17等は対応するページを表している。授業名の後に④が付いている授業はペア科目で隣のコマの同名の授業と連続して行うか、普遍教育の語学科目では別の曜日に開講されている同名の授業とペアで行われる。④が付いている授業は隔週で行われる授業で、同一コマにある④と④の授業は同時に履修することができる。教員名は漢字3文字までの省略形で示している。省略していない氏名はシラバスの対応ページを参照のこと。( )内の氏名は非常勤であることを示している。普遍教育科目のクラス分けの授業の教員・講義室の部分は「/」で区切って示している。

工学部都市環境システム学科 2003 年度〔後期〕時間割

曜	1 限 (08:50-10:20)	2 限 (10:30-12:00)	3 限 (12:50-14:20)	4 限 (14:30-16:00)	5 限 (16:10-17:40)	6 限 (17:50-19:20)	7 限 (19:30-21:00)
月		2 信頼性システム設計 I〔山崎文 工 17-215 都 A16〕	1 構造力学 I A〔高橋 工 9-207 都 A7〕 1 構造力学 I B〔上杉英 工 9-106 都 A8〕	3 都市計画マネジメント I〔(原昭夫) 工 17-212 都 A30〕	2 工学倫理〔堀田 総 B 都 A19〕 3 専門英語 II〔(Jack) 工 17-211 都 A32〕 3 専門英語 II〔(Goldst) 工 17-212 都 A32〕		3 都市環境システム演習 III〔(都非未) 都 A34〕
火			3 地域環境デザイン〔(三国政) 工 17-111 都 A28〕	3 システム評価〔(塩田) 工 17-212 都 A31〕	3 生産再生設計論 I〔(小倉裕) 工 17-212 都 A31〕	3 環境基礎解析 I〔(腰越秀) 工 17-214 都 A30〕	
水			2 情報システム I〔(深澤敦) 工 17-212 都 A16〕 3 基礎地盤工学〔(中井) 工 9-106 都 A28〕			2 都市環境デザイン〔(北原) 工 15-110 都 A17〕	
木		3 環境制度論〔(倉阪秀) 工 17-214 都 A29〕	2 都市環境システム演習 I〔(黒田潤) 他 工 17-214, 工 17-215 都 A17〕	1 都市環境基礎演習 I〔(石渡強) 他 工 都 演習 都 A7〕	3 都市環境システム演習 III〔(前田英) 他 工 5-105, 工 9-107 都 A34〕 3 都市環境システム演習 III〔(木村秀) 工 9-107〕	3 都市空間計画〔(村木) 工 17-111 都 A27〕	
金				2 構造力学 II〔(近藤) 工 9-206 都 A18〕 3 専門英語 I(注1) 〇〇〔(鈴木直) 工 17-211〕	3 専門英語 I 〇〇〔(鈴木直) 工 17-211〕		
土	3 都市環境システム演習 III(注2)〔(小川晃) 都 A33〕			3 都市環境システム演習 III(注3)〔(小川晃) 工 2-102, 工 9-206 都 A33〕			
集中	1 都市環境システム学外演習〔(小黒利) 未定(工学部) 都 A6 / 2 環境社会学(注4)〔(原口弥) 工 9-206 都 A18 / 3 都市環境システム実習〔(都全官) 未定(工学部) 都 A26 / 3 プロジェクト研究 A〔(都全官) 都 A27 / 3 複雑系概論〔(松下貢) 工 17-特別(都) 都 A35 / 4 コミュニティエンジニアリング I〔(鈴木直) 工 17-特別(都) 都 A35 / 4 卒業研究〔(都全官) 都 A37〕						

(注1) 5 時限目も授業を行う / (注2) 土曜日 1 ~ 3 限開講 / (注3) 土曜日 4 ~ 6 限開講 / (注4) 2 月 9 日、10 日、12 日に集中講義

授業科目名の前の 1 ~ 4 は工学部の開講科目であることを、1 ~ 4 は普遍教育科目等であることを、や 中の数字は対象年次を表している。普遍教育の科目については普遍教育発行の資料・サーバを参照のこと。末尾の都 A17 等は対応するページを表している。授業名の後に 〇が付いている授業はペア科目で隣のコマの同名の授業と連続して行うか、普遍教育の語学科目では別の曜日に開講されている同名の授業とペアで行われる。〇〇が付いている授業は隔週で行われる授業で、同一コマにある〇と〇の授業は同時に履修することができる。教員名は漢字 3 文字までの省略形で示している。省略していない氏名はシラバスの対応ページを参照のこと。( ) 内の氏名は非常勤であることを示している。普遍教育科目のクラス分けの授業の教員・講義室の部分は「/」で区切って示している。